

平成 25 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 亀望会

はじめに

国は高齢者が住み慣れた地域で生活を継続することが可能となる『地域包括ケアシステム』の構築にむけ、サービスの充実を図るべく制度改革を打ち出しているなか、当法人では、地域ニーズに合わせた認知症対応型通所介護「コスモスのかぜ九条南」を開設することができました。また、中央区北部地域包括支援センター事業を受託して2年目を迎え地域での重要な役割を担っていることによる実績は、『地域包括ケア』の実現に向け大きな自信となっています。

今年度は3年後のビジョン『亀望会で働けることに価値を見出し、誇りを持つ』にむかってその最終年として各事業が、5つの視点（地域貢献・顧客・財務・業務プロセス・人財育成）で取り組みました。

地域の方々に身近な施設として、利用していただきやすいよう「こすもすカフェ」の営業は、地道ではありますが、継続することで定着がみられ「地域の立ち寄りどころ」としての役割を果たすことができました。また、認知症の啓発活動についても積極的に実施しました。

業務改善の「アクションプラン」については、ケアのあり方につながる内容は一段とレベルアップし、今後のサービスの質の向上に反映させるとともに、職員全体のモチベーションをあげることもつながりました。

また、昨年と比べ人財確保に苦戦し、そのことが減収の大きな要因となりましたが、組織体制、キャリアアップ制度の構築、人財育成のカリキュラムの充実など積極的に取り組みました。また、職員の腰痛予防に対しては1日2回、亀望会独自で考案した腰痛予防体操を実施しました。新しい試みとして、仕事を離れての同好会活動を支援するシステムを作り、余暇活動の充実が職員の帰属意識を高めることにもつながりました。

1. 特別養護老人ホーム事業

平成25年度は「個別ケアの充実」と「科学的根拠に基づいた介護の実践」を目標として、自分らしく生活を送っていただけるよう配慮し、満足度の高いサービスが提供できる取り組みをおこないました。また、施設にて最期を迎えていただく看取りケアについても、22名の入所者を看取らせていただきました。

※平成25年度退所者30名（内死亡：看取り22名・病院3名、長期入院5名）

(1) 生活支援

①生活相談

入所者本人及び家族からの相談や苦情に対し迅速に対応かつ解決し、安心して生活をしていただけるよう努めました。

介護拒否や虐待による措置入所依頼に対して当該保健福祉センターと連携を図り、円滑な入所へと努めました。

②施設サービス計画

入所者の持っている力を最大限に発揮してもらうために細やかなアセスメントを実施し、施設における生活がその人らしく暮らせる場として提供できるように努めました。

施設サービス計画書をよりわかりやすい言葉で具体的に示し、ケアの方向性を本人、家族、職員に伝えることで本人らしい生活を送っていただけるように努めました。

③地域貢献の視点

地域貢献として取り組んできた「こすもすカフェ」も、今年度は開催日を毎月第二木曜日に固定し、季節に合わせた様々なメニューを取り入れることで、常連のお客さんも増え、知名度も上がってきました。また、同時に地域住民の方向けに「認知症サポーター養成講座」を開催し、積極的に「認知症サポーター」を増やす取り組みを行いました。

地域交流の取り組みとして地域のボランティア活動の拠点としての機能を果たすとともに、多方面から実習生を受け入れ、また、受け入れに関するマニュアル作成等にも力を入れて取り組みました。

地域の幼稚園や保育園へ出掛け福祉講座を開き、福祉をより理解していただけるように啓発活動をおこないました。

④顧客の視点

認知症や入浴、排泄、食事に関する「ケアのあり方委員会」を開催し、科学的根拠に基づくケア方針の検討と実施をおこない、ご本人にあった個別ケアの取り組みに努めました。

⑤財務の視点

排せつ方法や排せつ物品の見直しを定期的におこない、個人にあった排せつケアの見直しを図り、排せつ物品の削減など経費削減へと繋げることができました。

⑥業務プロセスの視点

パソコンソフトの新システムを導入し、有効活用することで他職種間との情報共有や業務の効率化を図ることができました。

⑦人財育成の視点

介護職員、看護職員、管理栄養士、相談員のすべての専門職が連携し、総合的なケアの向上に努めるとともに施設内研修、外部研修へ積極的に参加させ、モチベーションアップへ繋げ、全体のレベルアップに努めました。

(2) 健康管理

ケアの基本である「生活を整える」ためには、疾患の基礎的理解が必要であることから、介護職員への医療的な知識を積極的に指導伝達するとともに連携強化に努めました。

看取りケアにおいては、施設で穏やかな最期を迎えていただけるよう、すべての職種が連携し支援しました。また、グリーンケアを意識した関わりとして、エンゼルメイクについて、最新情報の取得及び技術習得に取り組みました。

平成24年度から一定条件の下での介護職員による口腔内痰吸引等がおこなえることとなり、入所者へより安全なケアの提供と介護職員のスキルアップに繋がる指導を継続・実施しました。

(3) 栄養管理

前年に引き続き、夏場の「冷やし素麺」、冬場の「鍋料理」と、今年も少人数でゆったりと落ち着いた雰囲気ですごし、楽しんでいただき、普段、口数の少ない方から若かりし頃の話やご家族の話を聞いたりし、新たな一面を発見することができました。

このような情報を栄養ケアマネジメントや日々の食事に活かすことができました。また、少しずつではありますが、行事食や魚類などで「ソフト食」の導入も増やしてきました。

(4) その他の取り組み

安全対策の取り組みとして各専門職が協働し、事故予防策の見直しに対して積極的に取り組み、事故予防に対する職員の意識向上を図ることができました。

2. 居宅サービス事業

居宅サービス事業においては、より質の高いサービスを提供できるよう各部署の連携強化、研修機会の増加に取り組みました。

その結果、利用者やその家族に安心して利用して頂けるサービスを提供することができ、地域の方々の『在宅支援、自立支援』に貢献することが出来ました。

(1) 短期入所生活介護（ショートステイ）

施設で過ごされた様子をご家族様に知っていただくために、送迎時やご自宅への連絡にて報告するなど連携を密に取ることで、信頼関係を構築することができました。

緊急入所の依頼に対しても積極的に受け入れ、少しでも多くの方にご利用していただけるよう努めました。

(2) 通所介護（高齢者デイサービス）

西区唯一の通所介護365日営業も9年目を迎え、利用者・介護支援専門員を含め地域に認知されています。利用される方々の特徴としては、厚生労働省から発表された通り認知症高齢者が増大してきており、中でも身体的に障害等はないものの、軽度から中度の認知症状により日常生活に支障をきたす方々の利用申し込みが顕著となっています。

サービスの内容については、「自立支援」を合言葉に支援の強化に取り組んだ結果、「してもらおう介護」から「できるようになる介護」へ利用者及びスタッフの意識を徐々にプラス思考にシフトすることができました。

次年度も同様に、利用者が持つ機能を可能な限り活かすことができる環境づくりと、介護の専門性を生かすことで、利用者本人が生きがいを持ち続け、介護する家族の負担を減らすことができる支援の強化に努めていきます。

(3) 認知症対応型通所介護（コスモスのかぜ九条南）

平成26年1月6日より開設、営業を開始しました。

地域包括ケアの一端を担うため、対象地域を西中学校区域と限定しており、自身で歩いてご利用される方もありました。

地域の方々からの認知症についての講演会の依頼に対応したり、きつこう会の認知症看護認定看護師及び介護支援専門員との定期的な連携会議をすすめることで、サービスの提供だけでなくネットワーク構築についても積極的に取り組むことができました。

次年度は、地域の方々に知っていただき足を運びやすい居場所にしていくことと、継続して各専門職が連携を取るための拠点となれる様、取り組んでいきます。

(4) 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所含）

西区地域包括支援センター総合相談窓口業務の委託を受け8年が経過しました。

今年度より人員配置が専属1名となり、よりきめ細やかに総合相談に対応出来る様になりました。その結果、相談件数が昨年の約3倍となり、より地域に根ざした事業所となることができました。

居宅介護支援事業としては4名の介護支援専門員により、高齢者人口の少ない西区において月平均115件の要支援・要介護ケースに対応しました。引き続き特定事業所加算Ⅱの算定に見合った事業所の運営、介護支援専門員の質の向上に向けて努力していきます。

各種関係者との連携および地域活動として、小中学校での福祉教育への参加、認知症サポーター養成講座の定期開催などを行いました。また、大阪市委託事業である家族介護者教室を西区地域包括支援センターと共催することにより、多くの地域住民の方々の交流の機会を設けることができました。次年度もこのような機会をより多く設け、継続して取り組んでいきます。

(5) 訪問介護（ホームヘルプサービス）

サービスを利用される方に対して適切に、且つ効率化の取り組みにより1回あたりの派遣時間が少なくなっているとともに、全体の派遣時間が少なくなりました。

支援の中身については、「共に行う支援」を中心に、今以上に介護が必要にならないようなサービスの計画と実施に取り組みました。また、窓口担当であるサービス提供責任者が、介護支援専門員と密に連携を持つために、事業所への訪問を定期的に行うことで認知度の向上に努めました。

次年度も引き続きより多くの利用者に満足していただけるよう取り組んでいきます。

(6) 地域包括支援センター（中央区北部）

開設2年目となる今年度の総合相談件数は3,470件・相談実人数は712名となりました。地域に少しずつ知られることで月平均相談件数は昨年度よりも約90件多い290件程度となりました。

介護支援専門員からの相談件数も819件となり、地域の介護支援専門員への後方支援の機会に比例し、信頼関係も深まっています。

高齢者虐待や処遇困難ケースに対しては地域ケア会議34回・サービス利用調整会議27回を行い、行政や地域の関連機関と連携を図り問題解決を図りました。

中央区認知症支援ネットワーク（COCOネットちゅうおう）や中央区地域ケア研究集会、各介護保険事業所の連絡会及び家族会などの事務局として地域のネットワーク作りに貢献しました。

介護予防への取り組みとして介護予防事業への利用を積極的に勧め、82件の二次予防事業対象者介護予防ケアプランを作成しました。また、指定介護予防支援事業者として月平均273件（一部委託含む）の指定介護予防ケアプランに携わりました。

事業評価については昨年度に続き、大阪市の評価基準を全て満たすことができました。来年度においては事業実施評価基準だけでなく、重点評価基準も満たすことができる運営を行うことで、地域に信頼される地域包括支援センターを目指します。

3. 診療所事業

昨年度に引き続き特養入所者、ケアハウス入所者および職員の健康管理に努めました。昨年同様にインフルエンザ予防接種を積極的に行い、また、感染症対策に努めました。

4. ケアハウス コスモスガーデン

ケアハウスでは、入所を継続する中で日常生活に何らかの支援が必要な方もおられ、できるだけ住み慣れた施設で暮らし続けたいという入所者の思いを達成するため、「いつまでも施設に暮らし続けるために」という方針を掲げ、色々な機会を通じて、どのような状態まで生活が可能か、どんな支援まで出来るのか検討を行いました。

また、その方針を達成するため、特に亀望会の居宅介護支援事業所との情報の共有化を図り、さらにきつこう会多根総合病院をはじめ医療機関、介護保険サービス事業者との連携により安心して暮らせる支援にも取り組みました。

(1) 地域貢献の視点

地域貢献、地域交流の取り組みとして、創立記念祭や敬老祝賀会の際に地域老人クラブの会員様を招待し、地域に暮らす高齢者とも交流を深めました。

地域社会とのつながりを保つため、地域活動への参加を計画していましたが、職員の入れ替わりがあった事で、地域の状況把握やつながりが薄くなり取り組むことができず、次年度の課題となりました。

災害時拠点施設となることによる準備もほとんど取り組めなかったので、次年度の課題となりました。

(2) 顧客の視点

入所者・家族との日々の会話や介護サービス事業者との会話を増やし情報交換を意識して行うことと、施設懇談会の開催により、入所者の状態把握とニーズ把握に努め、行事計画の中で生活に満足感が得られるように工夫を行いました。把握出来たニーズである終末への不安感・老化への不安感への支援が次年度の課題となりました。

重度化への対応は、退院後の特別支援を検討し、今後の足掛かりが出来ました。

パッケージ型自動消火設備の設置を行い、安全性が向上しました。工事期間中は入所者の協力を受け、スムーズに工事を進める事が出来ました。

(3) 財務の視点

40名の定員が確保できない月が多くあり、待機者確保とスムーズな入所への取り組みが次年度の課題となりました。

サービス有料化の方向性は、次年度以降の課題として持ち越しました。さらに、長期修繕計画立案の検討は基礎資料の作成までしか取り組めなかったので、次年度の課題となりました。

(4) 業務プロセスの視点

職員の入れ替わりにより業務の役割分担が上手く行えず、効率的な業務遂行とはなりませんでした。業務分担の見直しとマニュアル整備が次年度の課題となりました。

(5) 人財育成の視点

計画的な外部研修の受講は実施出来ませんでしたが、職員の入れ替わりにより必要となった知識向上のための研修受講を進めました。

〔資料編〕

1. 特別養護老人ホーム事業

①入所者利用状況 (H25. 4. 1~H26. 3. 31)

ア. 平均年齢 全体 男女別 (H26. 3. 31 現在)

男性	20名・83.6歳	女性	83名・87.4歳	平均年齢	103名・86.7歳
----	-----------	----	-----------	------	------------

イ. 日常生活動作調査 (対象者 103名) (H26. 3. 31 現在)

区 分	移 動			食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助
実数(名)	13	32	58	47	30	26	10	29	64	1	23	79	4	27	72

区 分	整 容			意思疎通			寝返り			車いす使用			認知症
	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	
実数(名)	8	30	65	29	46	28	42	16	45	10	18	57	93

ウ. 年間延べ利用者数合計等 (人)

年間延べ利用者数合計		36,687
介 護 度 別	要介護度 1	365
	要介護度 2	3,071
	要介護度 3	4,981
	要介護度 4	14,162
	要介護度 5	14,108
年間延べ入院及び外泊者数		768
年間延べ空床数 (床)		505
年間退所者数		30

②主な行事および活動

ア. 行事

日付	行事名	備考
平成25年 4月5・8日	土佐稲荷神社 お花見	公園内の桜の鑑賞や神社での参拝などで気分転換をしていただきました。(6名)
4月6日	広教連合とのお 花見(島津公園)	地域におけるお花見に参加し、さくら鑑賞とともに地域の人々との交流を行いました。(6名)
4月15日	造幣局	造幣局に咲いている何種類もの桜を鑑賞し、春の訪れを感じていただきました。(6名)
5月29日 6月5・10・ 14・16日	うつぼ公園 バラ園	うつぼ公園でのバラ園散策日とバラ園内でお弁当を召し上がっていただく日を設け、季節を感じていただきました。(15名)
6月20日	鉄板まつり	1階の喫茶ルームでたこ焼き、焼きそばなどを入所者の前で焼き、屋台の雰囲気ですまし上げていただきました。
6月27日 7月24・25日	中央卸売市場内 たちばな(寿司)	お寿司屋へ出掛け、景色を眺めながら好きなお寿司を召し上げていただきました(6名)
7月16日	子供みこし	施設の前で子供みこしを披露していただき、太鼓の音色を楽しまれました。
7月24・27日	すいか割り	夏の風物詩、「すいか割り」を楽しんでいただきました。
8月9日	ハンドベル演奏	30名程の地域の方に来苑していただき、ハンドベル演奏とコーラスを披露していただきました。
8月20・22・ 23日	地域の盆踊り	地域における盆踊りに参加し、地域との交流を楽しんでいただきました。(9名)
8月24日	夏祭り	模擬店や盆踊りなどボランティアの協力も得て、盛大に夏祭りをおこないました。入所者及び家族、関係者の皆様にも楽しんでいただきました。
9月6・10日	花火	夏の終わりに花火を楽しんでいただきました。
9月19日	敬老祝賀会(マジック)	ミスターオクチ氏によるマジックを披露していただき、楽しいひと時を過ごしていただきました。
10月4日 ～16日	西区高齢者施設 合同展示会	出展に向け、入所者で力を合わせて創作活動をおこない、多くの方々に観ていただき、称賛されたことに喜びを感じておられました。
10月18・22 日	心斎橋散策	道頓堀川沿いを散歩し、「づぼらや」で昼食を召し上げていただき、喫茶へ行ってきました。(9名)
10月8日 11月22・23 日	料亭 やまぐち	料亭の雰囲気を味わいながら、好きなメニューを選び、食事を楽しんでいただきました。(6名)

11月1日	うつぼ幼稚園	園児による合唱や入所者への肩たたきなどサービス満点の楽しい交流会となりました。
11月15・25 30日	秋の味覚まつり	焼き芋を施設内で焼き、秋の味覚を楽しんでいただきました。
12月16・18 19・20日	クリスマス会	職員が入所者一人ひとりに合ったプレゼントを配り、職員の仮装や夕食時にはステーキを食べていただくなど楽しいひと時を過ごしていただきました。
12月26日	もちつき	つきたてのお餅にあんこや大根おろし、きなこなどお好きな味で召し上がっていただきました。
平成26年 1月1日	新年祝賀会	統括施設長の挨拶で始まり、おせち料理やお屠蘇を提供し、新年のお祝いをしました。
1月9日	初詣	今年一年の始まりとして、茨住吉神社へお参りに行きました。(3名)
2月3日	節分	昔からの風習である豆まきを豆のかわりにボールを投げ、楽しく今年一年の厄払いを行いました。
3月4日	海遊館	鮮やかな色をした魚や優雅に泳ぐ姿を鑑賞し、心が癒されました。(3名)
3月21日	ボランティアによる歌	懐かしい歌を披露していただき、昔を思い出しながら一緒に歌われていました。

イ. 面会・外出・外泊状況集計表(H25.4.1～H26.3.31)

月平均面会回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
6名	5名	16名	14名	21名	18名	24名

外出回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
1名	0名	3名	2名	5名	10名	83名

外泊回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
0名	0名	0名	0名	0名	4名	100名

ウ. 自衛消防訓練等実施状況

年月日	内容	備考
平成25年4月17日	自衛消防訓練(4F介護職員室前) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成25年6月19日	自衛消防訓練(2F脱衣室) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成25年9月18日	地震防災訓練(津波想定) 昼間想定	被災・対策本部設置・防災活動隊編成訓練
平成25年10月16日	自衛消防訓練(5F食堂テイルム) 夜間想定	消火・通報・避難・誘導訓練

2. 居宅サービス事業

①短期入所生活介護（ショートステイ）

年間延べ利用者数等（H25. 4. 1～H26. 3. 31）

開設日数（日）	3 6 5	
実利用人数（人）	6 1 2	
年間延べ利用者数合計（人）	4, 9 4 2	
介護度別内訳	要支援1（人）	6
	要支援2（人）	7 6
	非該当・その他（人）	0
	要介護度1（人）	1 8 4
	要介護度2（人）	6 1 1
	要介護度3（人）	1, 4 5 4
	要介護度4（人）	1, 7 5 9
要介護度5（人）	8 5 2	
1日平均利用者数（人）	1 3. 5 3	
送迎（回）	2, 0 7 8	
平均介護度	3. 5 2	

②通所介護（高齢者デイサービス）

ア. 年間延べ利用者数 等（H25. 4. 1～H26. 3. 31）

開設日数（日）	3 6 4	
実利用者数（人）	1, 1 3 4	
年間延べ利用者数合計（人）	8, 3 6 4	
介護度別内訳	要支援1（人）	2 7 0
	要支援2（人）	1, 1 2 6
	非該当・その他（人）	0
	要介護度1（人）	1, 1 0 7
	要介護度2（人）	2, 6 7 0
	要介護度3（人）	1, 5 9 0
	要介護度4（人）	1, 1 2 4
要介護度5（人）	4 7 7	
1日平均利用者数（人）	2 2. 9	
送 迎（回）	7, 8 2 4	
入 浴（回）	8, 2 2 0	
給 食（食）	8, 1 9 6	
平均介護度	2. 6 1	

※台風のため1日間休業

イ. 実利用者数月毎推移表（H25. 4. 1～H26. 3. 31）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数	92	91	94	96	97	94	101	96	96	94	91	92

ウ. 利用者の状況 (H26. 3. 31現在)

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	子供(家族) と同居	その他	合 計
合 計	39	11	42	0	92

エ. 主な行事

- ・お花見 (土佐稲荷神社) : 4月1日 (月) ~ 4月7日 (土)
- ・七夕週間 : 7月1日 (月) ~ 7月7日 (日)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 7月7日 (月) ~ 7月13日 (日)
- ・夏祭り週間 : 8月5日 (月) ~ 8月11日 (日)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 9月9日 (月) ~ 9月15日 (日)
- ・敬老週間 : 9月17日 (月) ~ 9月23日 (日)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 10月9日 (水)、26日 (土)
- ・運動会 : 10月14日 (月) ~ 10月20日 (日)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 11月11日 (月) ~ 11月17日 (日)
- ・外出ランチ (魚河岸たちばな) : 12月1日 (日)
- ・年忘れ演芸会 : 12月23日 (月) ~ 12月29日 (日)
- ・初詣 (茨住吉神社) : 1月6日 (月) ~ 1月12日 (日)
- ・節分 : 1月28日 (水) ~ 2月3日 (火)

オ. 誕生日会

- ・毎月開催 (利用者の写真入りアルバムをプレゼントする。)

カ. クラブ活動

- ・計算、算盤、書道・ペン習字、運動、娯楽、手芸の各クラブ活動を実施

③認知症対応型通所介護 (コスモスのかぜ九条南)

ア. 年間延べ利用者数 等 (H26. 1. 6~H26. 3. 31)

開設日数 (日)	61	
実利用者数 (人)	13	
年間延べ利用者数合計 (人)	58	
介 護 度 別 内 訳	要支援1 (人)	0
	要支援2 (人)	0
	非該当・その他 (人)	0
	要介護度1 (人)	8
	要介護度2 (人)	19
	要介護度3 (人)	31
	要介護度4 (人)	0
要介護度5 (人)	0	
1日平均利用者数 (人)	0.95	
送 迎 (回)	58	
入 浴 (回)	32	
給 食 (食)	58	
平均介護度	2.41	

※利用者ゼロの日を差し引くと27日開設し、1日平均2.14名

イ. 実利用者数毎月推移表 (H26. 1. 6～H26. 3. 31)

	1月	2月	3月
実利用者数	1	5	7

ウ. 利用者の状況 (H26. 3. 31現在)

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	子供(家族) と同居	その他	合計
合計	5	1	1	0	7

④在宅介護支援センター(居宅介護支援事業含)

(1)在宅介護支援センター事業

ア. 相談事業実施状況 (H25. 4. 1～H26. 3. 31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
相談延件数	23	50	14	38	33	57	50	61	54	46	45	30	501	41.8

イ. 相談内容 (H25. 4. 1～H26. 3. 31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題		2				1	1	2	8			2	16	1.3
経済・生活問題	1	8	1	15		26	11	18	31	16	10	6	143	11.9
介護サービス	11	21	6	7	19	22	22	30	12	18	24	15	207	17.2
介護予防サービス	2	5	7	14	11	8	15	10	3	12	7	5	99	8.2
介護予防事業							1						1	0.08
福祉サービス		5			1			1				1	7	0.58
保健医療サービス	4	2		1									7	0.58
虐待	5	6		1	2						2		16	1.3
成年後見制度		1					1				2	1	5	0.4
生きがづくり														
その他														
合計	23	50	14	38	33	57	50	61	54	46	45	30	501	41.8

(2)居宅介護支援事業

ア. 年間延べ利用者数 等 (H25. 4. 1～H26. 3. 31)

年間延べ利用者数合計 (人)		1, 387
介護 度 別 内 訳	要支援1 (人)	131
	要支援2 (人)	183
	非該当・その他 (人)	0
	要介護度1 (人)	204
	要介護度2 (人)	425
	要介護度3 (人)	243
	要介護度4 (人)	172
要介護度5 (人)	29	

⑤訪問介護（ホームヘルプサービス）

ア. 年間延べ利用者数 等（H25. 4. 1～H26. 3. 31）

開設日数（日）	2 5 6	
実利用人数（人）	4 4 5	
生活援助（時間）	2, 6 3 8. 4	
身体介護（時間）	6 0 3. 6	
派遣時間合計（時間）	3, 2 4 1. 0	
年間延べ利用者数合計（人）	3, 6 5 5	
介護度別内訳	要支援1（人）	5 6 4
	要支援2（人）	6 5 1
	非該当・その他（人）	0
	要介護度1（人）	4 2 1
	要介護度2（人）	1, 4 2 7
	要介護度3（人）	4 2 1
	要介護度4（人）	1 7 1
	要介護度5（人）	0

イ. 平均年齢 全体 男女別（H26. 3. 31現在）

男性	1 0 名・82 歳	女性	3 0 名・85 歳	男女平均年齢	4 0 名・83.5 歳
----	------------	----	------------	--------	--------------

ウ. 利用者の状況（H26. 3. 31現在）

	一人暮らし 世帯	夫婦のみ 世帯	子供家族 と同居	未婚の子供 と同居	その他	合 計
合 計	30	8	2	0	0	40

⑥地域包括支援センター（中央区北部）

(1)地域包括介護支援センター事業

ア. 相談事業実施状況（H25. 4. 1～H26. 3. 31）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30. 4
相談延件数	245	233	272	301	304	320	307	236	307	319	268	358	3, 470	289. 2

イ. 相談内容（H25. 4. 1～H26. 3. 31）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題	15	9	11	32	21	33	24	10	11	9	7	14	196	16. 3
経済・生活問題	9	17	7	11	12	27	40	22	33	24	35	44	281	23. 4
介護サービス	65	71	104	93	113	101	76	69	84	102	64	128	1, 070	89. 2
介護予防サービス	67	94	54	59	61	56	35	27	60	46	65	59	683	56. 9
介護予防事業	35	20	65	62	60	56	92	65	61	69	35	49	669	55. 8
福祉サービス	4	2	2	9	8	9	15	13	14	4	22	20	122	10. 2
保健医療サービス	5	4	2	14	6	11	5	12	12	11	4	15	101	8. 4
虐待	12	8	14	12	14	15	11	10	16	35	18	13	178	14. 8
成年後見制度	16	2		6	1	4	7	8	14	16	16	15	105	8. 8
生きがづくり						5	1		2	1	1		10	0. 8
その他	17	6	13	3	8	3	1		2	1	1	1	55	4. 6
合 計	245	233	272	301	304	320	307	236	307	319	268	336	3, 470	289. 2

(2) 介護予防支援事業

ア. 年間延べ利用者数 等 (H25. 4. 1~H26. 3. 31)

年間延べ利用者数合計 (人)		3, 3 5 8
介護 度 別 内 訳	要支援 1 (人)	5 0 3
	要支援 1 (委託) (人)	1, 1 2 5
	要支援 1 計 (人)	1, 6 2 8
	要支援 2 (人)	6 3 6
	要支援 2 (委託) (人)	1, 0 9 4
	要支援 2 計 (人)	1, 7 3 0

3. 診療所事業

ア. 診療報酬請求件数 (H25. 4. 1~H26. 3. 31)

	入所者	職員	合計
年間合計	1, 246	26名	1, 272
月平均	103.8	2.2	106

イ. 健康診断実施状況 (H25. 4. 1~H26. 3. 31)

	入所者	職員	ケアハウス	合計
年間合計	229名	159名	24名	412名
月平均	19.1	13.3	2.0	34.3

ウ. インフルエンザ予防接種実施状況 (H25. 4. 1~H26. 3. 31)

入所者	102名	職員	134名	ケアハウス	16名	職員家族	50名	合計	302名
-----	------	----	------	-------	-----	------	-----	----	------

4. ケアハウス コスモスガーデン

ア. 入所者の状況 (H26. 3. 31現在)

平均年齢

全体 83. 2歳	男性 (10名) 81. 2歳	女性 (30名) 83. 4歳
-----------	-----------------	-----------------

イ. 日常生活動作調査 (対象者 40名)

区 分	移 動		食 事			排 泄			入 浴		
	自立 歩行	補助 具使用	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	普 通	やや 不 自 由	不 自 由	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助
実数 (名)	3 2	8	3 9	1	0	3 9	1	0	3 6	3	1

* 補助具使用者とは、歩行時に歩行器・杖を使用している者

ウ. 面会・来客・外泊状況集計表 (H25. 4. 1~H26. 3. 31)

年間面会・来客回数

1 1回~	6 ~ 1 0回	3 ~ 5回	1 ~ 2回	0回
7名	2名	1 0名	6名	1 5名

年間外泊回数

1 1回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
0名	2名	4名	15名	19名

エ. 主な行事

4月	創立記念祭	行楽弁当			
5月	端午の節句と菖蒲湯	おでんバイキング			
6月	鶴橋風月	アクティブ行事	バイキングランチ		
7月	七夕祭事食	ステーキランチ			
8月	納涼祭				
9月	敬老祝賀会	お月見祭事食	結核健診		
10月	健康診断	自衛消防訓練	行楽弁当	スポーツ大会	おでんバイキング
11月	寿司ランチ	作品展			
12月	人権講座	バイキングランチ	お楽しみ会	ゆず湯	餅つき 年越しそば
1月	新年互礼会	七草粥	小正月	鏡開き	
2月	節分祭事食とレクリエーション			寿司ランチ	
3月	ひな祭り祭事食とレクリエーション		自衛消防訓練	特別ランチ	認知症講座

オ. その他

誕生日会：月1回 和みカフェ：月1回（年2回お茶会） 移動図書館：月1回
 健康相談会：月1回 映画会：月2回 健康体操：月1回（椅子・床）
 セレクトメニュー昼食：月1回 焼きたてパン：月2回
 活動クラブ 手芸、カラオケ、オセロ

5. その他

(1) 研修状況

・施設内研修（基礎研修）

日付	研修名	研修内容	参加者
平成25年 4月17日	利用者プライバシー保護について	福祉施設職員として、プライバシー保護の重要性を学ぶ	施設長以下計62名
4月17日	ターミナルケアについて	高齢者の看取りケアを学ぶ	施設長以下計62名
5月15日	事故の発生等緊急時の対応について	事故の発生等緊急時の対応について医師より具体的な方法を学ぶ	施設長以下計63名
6月19日	食中毒及びまん延防止について・事故防止について	食中毒の原因となる細菌と予防を学ぶ・事故防止の方法を学ぶ	施設長以下計62名
7月19日	マナーについて	接遇マナーの基本を学ぶ	施設長以下計60名
8月 7日	口腔ケアについて	口腔ケアの基礎知識を学ぶ	施設長以下計51名
9月18日	働きやすい職場づくりについて	グループワークを行う	施設長以下計54名
10月16日	認知症について	認知症及び認知症ケアについて学ぶ	施設長以下計59名

11月20日	感染症について	施設内感染症制御等を学ぶ	施設長以下計54名
12月11日 ～17日	人権ビデオ研修について	人権について学ぶ	施設長以下計76名
平成26年 1月15日	消防訓練について	消防訓練についての取り組みを学ぶ	施設長以下計54名
2月19日	事故発生防止について	事故発生防止についての基礎知識を学ぶ	施設長以下計47名
3月19日	高齢者虐待について	高齢者虐待について学ぶ	施設長以下計50名
3月19日	身体拘束等排除の取り組みについて	身体拘束廃止の取り組みを学ぶ	施設長以下計50名

・施設内研修（階層別研修）

①新任職員研修

主に4月入職の職員について3月29日に実施。入職前に業務内容について学ぶ。計7名受講。主に6月採用者を中心に6月3日、6月25日の両日に実施計4名受講。

②中堅職員研修

階層別に中堅職員研修を行った。

1) 中堅職員研修Ⅰ（入職2年目の常勤職員）

2クール各1日 計10名が受講。

2) 中堅職員研修Ⅱ（入職3年以上の常勤職員）

1クール3日間（うち、他部署1日研修1日含む）計3名が受講。

3) 中堅職員研修Ⅲ（入職5年以上の常勤職員）

2クール各1日 計11名が受講。

③相談員研修

相談業務従事者19名に対し、年4回実施。延参加者人数計48名受講。

・施設外研修

施設外研修として、各種上部団体主催の研修会にできるかぎり参加。その結果、大阪府社会福祉協議会、大阪市福祉局など計136回の研修に参加した。

(2) ボランティア・実習生受入、体験学習状況

・ボランティア受入状況

①特別養護老人ホーム

内 容	人 数
ホーム喫茶（毎水曜日）	2名
コーラス（本田小学校）	30名
夏祭り（住友生命）	42名
敬老会（手品）	3名
もちつき（大阪トヨペット株式会社・すみれ会）	11名
うたのつどい	4名

②通所介護

内 容	人 数
夏祭り（盆踊り7日間）	のべ21名
施設夏祭り（付き添い）	3名
初詣（茨住吉神社7日間）	のべ19名
演歌・舞踊（2回）	のべ2名
うた楽バンド（歌謡・童謡）（6回）	のべ12名
うた体操（24回）	のべ48名
大阪市の歴史語り（10回）	のべ12名
民謡（三味線・尺八）（4回）	のべ4名
民謡（三味線・太鼓）（3回）	のべ15名
民謡（三味線）（3回）	のべ45名
民謡（三味線）（2回）	のべ4名
歌謡曲（6回）	6名
手品（一般）（1回）	2名
手品（学生）（1回）	4名
ハンドマッサージ（1回）	15名
ボランティア体験（市社協）	7名

・実習生受入状況

学校等の名称	実人数	のべ人数	内容(資格等)
関西学院大学	1名	23名	社会福祉士
大阪人間科学大学	1名	23名	社会福祉士
関西社会福祉専門学校	12名	180名	介護福祉士
昇陽高校	2名	44名	介護福祉士
4機関	16名	270名	—

・職場体験学習

平成25年 11月13日～14日 大阪市立花乃井中学校 2年生 6名
 平成26年 2月 6日～ 7日 大阪市立西中学校 2年生 5名

(3) 寄付金状況(平成25年度分：日付順)

①コスモス苑

年 月 日	団体名・氏名	関係	金 額	備 考
平成25年 5月 7日	柳井 紘一様	入所者 家 族	100,000	法人運営費に充当
平成25年 8月 9日	匿 名様	—	30,000	法人運営費に充当
平成25年 8月24日	白國 哲司様	理 事	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成25年 8月24日	麻殖生成剛様	評議員	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当

平成25年 8月24日	村田 節子様	評議員	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成25年 8月24日	西区健康づくり推進 協議会様	地 域	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成25年 8月24日	江戸堀連合振興町会様	地 域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成25年 8月24日	エルペロワイヤル16 振興町会様	地 域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成25年 8月24日	竹田 房子様	地 域	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成25年 8月24日	坂本様 (江戸堀連合) 中嶋様 (広教連合)	地 域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成25年10月 1日	中馬 徹様	入所者 家 族	100,000	法人運営費に充当
平成25年10月30日	小川 馥子様	入所者 家 族	600,000	法人運営費に充当
平成25年10月30日	末永 幸子様	入所者 家 族	600,000	法人運営費に充当
平成25年10月30日	多根 一之様	入所者 家 族	600,000	法人運営費に充当
平成25年10月30日	多根 礼子様	入所者 家 族	600,000	法人運営費に充当
平成25年10月30日	水田 三和子様	入所者 家 族	600,000	法人運営費に充当
平成25年11月16日	社会医療法人 きっこう会様	関 連 法 人	50,000	法人運営費に充当
平成25年12月20日	山下 ツキ子様	評議員	10,000	法人運営費に充当
平成25年12月20日	吉田 安雄様	評議員	10,000	法人運営費に充当
平成25年12月20日	西区民生委員・児童 委員協議会様	地 域	30,000	法人運営費に充当
平成26年1月21日	住友生命 保険相互会社様	法 人	50,000	法人運営費に充当
平成26年2月25日	林 タカエ様	入所者	50,000	法人運営費に充当
平成26年3月14日	中田 正信様	入所者 家 族	100,000	法人運営費に充当

②コスモスガーデン

年 月 日	団体名・氏名	関 係	金 額	備 考
平成25年 4月24日	鞆楠クラブ様	地 域	5,000	創立記念祭 ケアハウス運営費に充当
平成25年 9月25日	鞆楠クラブ様	地 域	5,000	敬老祝賀会 ケアハウス運営費に充当

(4) 寄付物品(平成25年度分:日付順)

①コスモス苑

年月日	団体名・氏名	関係	物品名・個数	備考
平成25年 6月 5日	大阪市危機管理室様	—	エンジン 発電機 1台	特養で使用
平成25年 9月 4日	広教連合振興町会様	地 域	バスタオル 40枚	特養で使用
平成25年 9月 6日	日本たばこ産業 株式会社様	法 人	たばこ 10カートン	入所者に配布
平成25年12月 4日	林 タカエ様	入所者	車いす 2台	特養で使用

②コスモスガーデン

年月日	団体名・氏名	関係	物品名・個数	備考
平成25年 4月 1日	(株)ガイア様	法 人	野球観戦チケッ ト20枚	入所者に配布
平成25年 6月 5日	大阪市危機管理室様	—	エンジン 発電機 1台	ケアハウスで使用
平成25年 8月19日	関西シティーフィル ハーモニー交響楽団様	法 人	演奏会チケッ ト16枚	入所者に利用
平成25年 9月 6日	日本たばこ産業 株式会社様	法 人	たばこ 1カートン	入所者に配布